



期待と緊張を胸に、わくわくドキドキしながら幼稚園の門をくぐった4月。早いもので、もう1年が経ちました。今では、自分で朝の準備を終えると元気に遊び始め、降園時間になると「えー！もっと遊びたかった」と残念がったり、「明日も〇〇で遊ぼう」と明日を楽しみにしたりしています。また、自分の遊びを繰り返し楽しむ中でも、やりたいことが同じ友達と一緒に、自分の思いや考えを出しながら遊ぶ姿を見ると、4月からの成長を感じ嬉しく思います。最近では、もうすぐ年長児が卒園することを少し寂しい気持ちも感じつつ、「もうすぐ年長さん」と次は自分達が年長児になることが分かり、進級への期待も膨らんでいます。4月から楽しみです。



～ザリガニのお世話～

劇遊びが終わった後も、子ども達はザリガニの世界で遊んでいました。ザリガニの家を可愛くしようしたり、そこへ他の生き物が遊びに来て一緒に誕生日パーティーをしたりと、友達と一緒にお話の中で遊ぶことを楽しんでいました。そして、もも組で育てているザリガニの水槽の水が汚れてくると「ザリガニさんがかわいそう」と、自分達で掃除をするようになりました。ザリガニを優しく水槽から出したり、水槽についた苔を取ろうとブラシで擦ったりしながら自分達で掃除をしています。「赤ちゃんも、大きくなってきたな」とザリガニの赤ちゃんが大きくなってきたことも喜んでいました。ザリガニの飼育を通して、命を大切にする気持ちや思いやる気持ちも学んでいる子ども達でした。



たのしい ひなまつり



子ども達と一緒にひな人形を飾りました。人形や道具を持ってゆっくり運んだり、そっとひな壇に飾ったりと、壊れないように大事に飾ろうとする姿が見られました。ひな人形の顔を「可愛い」「ちょっと怖い」と覗き込んだり、お雛様の長い髪の毛を見て驚いたり、ひな人形に心を動かしていました。そして、飾り終わると「自分のひな人形もほしい！」と自分のひな人形もつくることになりました。着物をつくるための千代紙を見せると、「綺麗」「色々な模様があるね」と千代紙ならではの美しさを感じ、自分で好きな色や模様を選んで作り始めました。「早く持って帰りたい」「お家の人に見せたいな」と、自分が作ったひな人形を見て満足そうな表情を浮かべたり、友達のひな人形を見て「〇〇ちゃんのひな人形も可愛いね」と友達と見合ったりしていました。



こまチャレンジ



1月からチャレンジしてきたこま遊び。初めはこまに紐を巻くことも難しかった子ども達ですが、教師と一緒にやってみたり、教師や友達に励まされたりすることで、「できない」「無理」と言っていた子ども達も、もう一度やってみようとしてチャレンジしていました。また、友達が回るようになる、「自分も回せるようになりたい!」と思い、何度もやってみたり、友達がしている姿を見て投げ方を真似たりしていました。こまを回せるようになることも素敵ですが、諦めずにやってみようとする姿が素敵ですね。友達と「せーの」と声を掛けて一緒に回したり、誰が一番長く回るか比べたりと、自分だけでなく友達がいることで楽しい気持ちも感じていました。



バスの車庫に行こう



阪神バスに乗って、塚口営業所まで見学に行きました。「次は塚口営業所です」と運転手さんがアナウンスをすると、みんな一緒に停車ボタンを押しました。バスの車庫にはバスがたくさん停まっていて、「すごいっばい!」「あっちにもバスがいる!」と目を輝かせていました。また、整備士さんがバスの点検をする場面では、バスが子ども達よりも高くあがると「すごいすごい!」「どうやってるの?」と驚いていました。最後は制服を着て運転席で記念撮影をしました。次の日、楽しかったバスの思い出を振り返りながらお礼の絵も書きました。



～ごあいさつ～

保護者の皆様、1年間ありがとうございました。自分が見つけたり考えたりした遊びの面白さ、友達と一緒に遊ぶ楽しさ、自分の思いを伸び伸びと表現するよさを経験してきた子ども達。保護者の方々の、ご理解、ご協力あっての子ども達の成長です。温かく見守ってくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。